



ニ コ リ

nikori

～子どもの育ちが気になるあなたへ～

乳幼児期から就学まで

Message

あなたにふれる小さな手。

あなたが大切に育んできた命は、あなたにたくさんのことを気づかせてくれることと思います。

子どもと一緒に歩いていく道は、平らな道ばかりではなく、ときに凸凹道になることもあるでしょう。

そんなとき、つまずいて驚いたり、泣いてしまったり、また立ち上がるまでに、時間がかかってしまったりすることがあるかもしれません。

でもそこには、ゆっくりと流れる景色があり、ちょっと立ち止まったからこそ、広く感じることのできる世界があると思っています。

私たちがそんな道を子どもと一緒に歩んできました。

人を育てていくのには、本当に根気がいりますね。ここまで歩んできた、子どもとあなたは本当によくやっていると思います。

これから歩いて行く道で、目の前にいる子どもと、もっと楽しく明るく生活していけたら素敵だと思いませんか？

あなたの暮らすこの掛川市には、その思いを受け止めてくれるところや人がたくさんいます。





Contents



- 3 相談してみましよう
- 10 子どもと少し、世界を広げてみよう
- 17 医療機関を受診する
- 22 発達・知能検査について知ろう
- 25 就学の流れ
- 37 学校に行けなくなったら
- 40 放課後等デイサービス
- 45 知っておきたい福祉制度
- 50 子どもと一緒に出かけよう





相談してみましよう

子どもの発達に詳しい人がいるところ &

あなたの心配を聞いてくれる人がいるところ

うちの子、ほかの子と違う…？とか、育てにくさを感じたり。でもまだ小さいから個性かな？とも思ったり、そんな日々の繰り返し。それでも、もし生活が良くなっていかない、何も解決しないと感じたらお子さんにあった子育ての仕方を少し工夫してみるといいかもしれません。お子さん一人一人に個性があり、一方的な行動にも必ず理由があります。子育ての工夫を教えてください、必要であれば貴方とお子さんと一緒に学び考えたい。そんな人達 & 資源を紹介します。

ライフステージに応じた療育・相談機関



未就園児
0～3 歳

- ◎乳幼児健診
6 か月児相談、1歳 6 か月児健診
2 歳 2 か月児健診、3 歳児健診
- ◎すくすく健康相談
- ◎徳育保健センター子育て相談
- ◎ふくしあ子育て相談
- ◎子育て世代包括支援センター
- ◎子育てコンシェルジュ
- ◎子育て支援センター・つどいの広場
- ◎こども発達センター
めばえ・みなみめばえ
- ◎掛川市社会福祉協議会 療育相談
- ◎掛川市発達相談支援センター
のびる～む



幼稚園
保育所

- ◎園の特別支援コーディネーター
- ◎こども発達センター
めばえ・みなみめばえ
- ◎幼児ことばの教室
- ◎4歳児ことばの一斉検査
- ◎掛川市社会福祉協議会 療育相談
- ◎掛川市発達相談支援センター
のびる～む



就学後

- ◎特別支援コーディネーター
- ◎スクールカウンセラー相談
- ◎子どものための教育相談
(掛川市教育センター)
- ◎家庭児童相談室
- ◎掛川市教育委員会
学校教育課
- ◎静岡県総合教育センター
- ◎東遠地区生活支援センター
- ◎医療機関
- ◎掛川市発達相談支援センター
のびる～む

この本に出てくる子どもたち

※登場人物の特性や経過は創作したものであり、実際の人物に基づいたものではありません

子どもの歩み

親の気持ち

A くん



徳育保健センターの2歳2か月児健診
で「個別相談」を勧めてもら



掛川児童交流館の「おやこ遊びの教
室」を勧めてもら



おやこ遊びの教室で、こども発達センタ
ーめばえの「親子通園」を勧めてもら



こども発達センターめばえの
「毎日通園」を勧めてもら

「この先、どうなるんだろう
…？」

「発達がそんなに遅れているの
かしら…？」

先が見えない不安でいっぱい。

B くん



子育て支援センターの先生に相談に
のってもら



健診で保健師さんに掛川児童交流館の
「おやこ遊びの教室」を勧めてもら



就園時に、こども発達センターめばえの
「並行通園」を勧めてもら

「子育て支援センターに行って
も、上手に遊べないし、相手の
親御さんに謝ってばかりで疲れ
てしまった…」

「急に走り出したり、大泣き大騒
ぎしたり…私の子育てが悪かつ
たんじゃないかと思うと悲しく
なる」

C ちゃん



健診で「次の健診までお子さんの様子
をみましょう」と言われる。成長のアドバ
イスをもら



就園してから、「幼児ことばの教室」を勧
めてもら

「少し気になるけど、成長すれば
きっと大丈夫だろう…」

漠然とした不安はあるが
「この子の個性だろう…」

はじめのいっぽ～乳幼児健診

子どもが生まれて「自分の子どもは順調に育っているかな？」「自分の育て方はこれでいいのかな？」と気になる方も多いと思います。そういった時に、最初に相談しやすいのが乳幼児健診の場。掛川市では月齢、年齢に応じて、3歳までに6回の健診があります。ついつい周りの子どもと比べてしまって、うまく相談できないという方もいるかと思いますが、健診の目的や、保健師さんの想いはどんなものなののでしょうか？ちょっと伺ってみましょう。

Q. 健診の目的を教えてください。

A. お子さんの健やかな成長発達を願い、家族の皆さんにも、より健康で過ごしてもらえるよう実施しています。健診に来て「大きくなったね。前よりこんなにできることが増えてるよ。」とお母さん達と一緒に成長を確かめ、認め合うことを目的としています。

Q. 健診ではどのようなことをしますか？

A. 身体の発育、生活リズムや発達の確認、先天性等の病気の早期発見、心配事の相談に応じています。小児科医師、歯科医師、保健師・助産師、栄養士、歯科衛生士、心理相談員等が対応しています。

Q. 健診の時に子どもの気になる部分はあるけれど、周りの人の目が気になって相談しにくいです。そういった時はどうしたらいいのでしょうか？

A. ゆっくり相談できない場合は、別の相談日をご紹介できます。遠慮なくお申し出ください。

Q. 現在、病院に定期的に通って発達について診てもらっています。それでも健診には行った方がいいのですか？

A. 病院は、お子さんに対して診断・治療・リハビリ等を行う医療の場です。健診は、ご家族を含めた健康の保持増進を目的とし、育児支援なども行っています。それぞれ目的が異なるので、どちらにも来ていただく方がよいです。事前にご相談頂ければ、お子さんの状態により対応を考えます。ご相談ください。



Q. 保健師さんによって、同じ悩みを伝えても対応にバラつきがあるように感じます。統一した対応をとることはできますか？

A. 健診のアンケートに記入していただいた相談事は、その時のお子さんの状況だけでなく（保護者の方やご兄弟も含めた）家族の状況に合わせて、個別にアドバイスしています。

Q. 健診用紙に正直なことを書いたら注意されそう…。発達が遅れがあるとわれれば怖いのです。

A. 健診は発達の遅れを発見することだけが、目的ではなく、お子さんの健やかな成長発達を促すためには、どうしていったら良いのかを、お母さんと一緒に考える場です。発達がゆっくりなことで、育てにくさを感じているかもしれません。適切な関わり方が見つければ、もっと育児を楽しめるかもしれません。健診の場は、お母さんを応援する場でもあるのです。

Q. 第一子は親も子育ての経験がなく、心配や不安が大きいのですが、第一子の保護者に対する支援などありますか？

A. 健診の相談では、第一子のお母さんにはできるだけ丁寧に説明することを心がけています。その他にも、妊娠中のパパママセミナー、離乳食教室などで育児情報を提供しています。また生後0か月～1歳代のお子さんの保護者には、育児力アップ教室を開催し大変好評です。

Q. 個別相談などを通して、病院受診を勧められましたが、病院に提供される子どもの情報を親も見ることは出来ますか？

A. 情報提供書は、保護者の方の同意を得て提供しています。内容は家族構成、出生から現在までの健診の様子（問診アンケートに記入していただいた内容や聞き取り、体格）等の客観的な情報のみを記入しています。情報開示については、ご相談ください。

Q. 保健師さんから「おやこ遊びの教室」というものに誘われました。それってどんな教室ですか？

A. 親子のふれあい活動を通して、お子さん達の発達を促す教室です。身近な大人と一緒にふれあうことで“楽しい、もっとやりたい”という気持ちで育ち、次のステップにつながります。



Q. 健診で個別相談をすすめられましたが、予定は少し先になりますと言われました。もっと早めることはできませんか？

A. 個別相談は人気が高く、大勢の方に利用していただいています。お急ぎの場合はキャンセルが出た時に、優先的にお声をかけさせていただきます。ご相談ください。

Q. 「おやこ遊びの教室」の見学はできますか？

A. 個別相談でご紹介した時に、見学をお勧めしています。その日の主活動により参加しやすい日をご案内しています。ご相談ください。

Q. 個別相談で発達検査を受けることになりましたが、結果の説明などはしてもらえますか？

A. 相談時間の後半には、簡単にその日の結果と今後の対応方法についてお伝えしています。相談時は、とても緊張していてアドバイス内容をよく覚えていないという声をお聞きし、お母さん自身が結果をメモして持ち帰ってもらう用紙を用意しています。

Q. 「おやこ遊びの教室」は、その後どこか通うことはできますか？

A. 教室を卒業されたお子さんは、必要に応じてめばえ親子通園への紹介等もしています。



子育て支援センターに行きたいのですが

子どもを連れて、子育て支援センターに遊びに行ったら、「あれ？なんだかほかの子とうまくあそべない…」「ほかの子とくらべてしまう」などのちょっとした気持ちを感じたことはありませんか？そのような悩みについてのあれこれをお聞きしてきました。

Q. 子育て支援センターに兄弟を連れて行った際に、発達が気になる子への配慮などしてもらうことはできますか？

A. 混み合う支援プログラムの時以外は、できるだけお手伝いさせていただきます。パンダひろばは、外遊びができるので、大きい子はのびのびと外遊びを楽しみ、スタッフもお手伝いしやすいと思います。

Q. 子育てで悩んでいます。相談機関につなげてもらうことなどはできますか？

A. はい、できます。相談される方に寄り添い、ご希望があれば専門機関につなげます。掛川市は、子育て支援センター同士のつながり、保健センターや、発達の専門機関ともつながっていますのでご安心ください。

Q. 子育て支援センターにポスターやチラシなどで、発達に心配のある子の保護者に向けての案内があると見やすいと思うのですが、どうでしょうか？

A. あると良いと思います。悩んでいる方が、案内を見て一歩を踏み出すきっかけになると思いますね。

Q. 発達に心配のある子だけに開放してもらえる日があればいいなと思います。そういった取り組みの予定はありますか？（親の想いとして、他の保護者の目が気になってしまったため、人の少ない時間帯を選んで通っていた。また、ママ友を作りづらかった。などがありました）

A. 掛川市の子育て支援事業所では、どんな方でも広く門を開け、子育ての応援をしたいと考えています。パンダひろばでは、発達に心配なお子さんと保護者が利用できる「うさぎちゃんの日」を月1回設定しています。「うさぎちゃんの日」では支援スタッフとボランティアが対応して、相談や、一緒に楽しく遊べるヒントを見つけられるような支援をしています。9時から14時までの開所時間の中で、室内遊びをはじめ、砂遊び、野菜栽培、お弁当も食べることができて、仲間づくりをしながらゆっくりと過ごしていただけます。通常の利用と同じ支援を、お子さんの状態に合わせて、気兼ねなく体験することができます。



Q.うちの子どもはすぐにお友達に手が出てしまいます。どうやって遊ばせたらいいのかわかりません。そういった悩みを聞いてもらったり、遊び方を教えてもらったりすることはできますか？

A.もちろんできます。子どもはお友達との関わりの中で育ち、様々な方法や対処の仕方を学んでいきます。パンダひろばでは、ケンカも関わりのひとつと考え、一緒に遊び、「貸して」「ありがとう」「ごめんね」などの言葉とともに、人と関わるのが楽しいという経験の積み重ねをしていきたいと考えています。

Q.子育て支援センターには、福祉や療育、発達に心配がある子どもの育児に詳しいスタッフはいますか？または、そういった専門の方が来る日はありますか？

A.保育士・幼稚園教諭等専門的なスタッフが、いつでも相談に応じます。
また、療育などの専門家と相談できる日も設定していく予定です。

Q.子どものこだわりや理解の弱さから、イベントに参加できないと感じています。途中で抜けることや全く参加できなくても大丈夫ですか？

A.はい、大丈夫です。パンダひろばでは、イベントの参加、不参加は全く自由です。お子さんの年齢や興味に合わせて、お子さんとお母さんが決めていただければいいと思います。無理に参加させようとするよりも、お子さんのあるがままの姿を受け入れること、そして、お母さん自身が楽しむことが大切ではないかと思います。

※各施設の予定を確認してお出かけください。





子どもと少し、世界を広げてみよう

療育ってなあに？

子どもの事で相談をしていくと、「療育を受けた方がいいですよ」と勧められる方もいるかと思いますが。初めて聞く“療育”という言葉に、戸惑いを感じる方もいらっしゃるかもしれません。療育って一体どういうものなのでしょう？

大人でも不得意なところを何かでカバーしたり、工夫したりしますよね。同じように、お子さんも持っている力を最大限に発揮できるように発達を促したり、環境を整えたり、支援ツールを利用したりしながら、その子が自信をもって生活できるようになることを日々みんなで考えて丁寧な子育てをすることが療育です。

掛川市では、様々な療育の場があります。そうしたところでは、子どもに対する支援だけでなく、親に対しても専門の職員から、子育てのヒントやアドバイスも受けることができます。一緒に考えてくれる人とつながりながら、子どもと一緒に少しでも世界を広げてみませんか？

未就園児



おやこ遊びの教室

場所：掛川児童交流館内

利用：月に2～4回 午前10時～11時

こども発達センターめばえ・みなみめばえ 親子通園

場所：こども発達センターめばえ・みなみめばえ

利用：週に1回

就園後



幼児ことばの教室（掛川教室・大東教室）

場所：掛川市総合福祉センター「あいりーな」3階
大東保健センター1階

利用：週に1回または月に2回

こども発達センターめばえ・みなみめばえ 並行通園

場所：こども発達センターめばえ・みなみめばえ

利用：週に1回

こども発達センターめばえ・みなみめばえ 毎日通園

場所：こども発達センターめばえ・みなみめばえ

利用：月～金 週5日

Aくんの通う“毎日通園”ってどんなところ？



～児童発達支援～

心身の発達に心配のある就学前の子どもたちに対して、一人一人に合わせた療育を通して、どの子ども生活の主人公になれるよう発達の支援をしていきます。

定員 35名(みなみめばえは20名)

時間 月～金9:00～14:30

(木曜日は13:00まで)

日課 通園バスまたは家庭送迎

9:00 登園・支度

9:30 朝の会

10:00 設定遊び

(水遊び・絵の具遊び・運動など)

11:30 給食

12:30 自由遊び・午睡

13:00 午後日課(散歩・クッキング)

14:00 おやつ

14:30 降園

通園バスまたは家庭送迎

- 保護者保育参加日
(親子登園)概ね月2回
- お母さん(お父さん)先生 年1回

※定期的に保護者と個人面談を行い、課題や支援の手立てを確認します。

療育方針・3つの柱

発達支援

- ・全身の感覚遊びや運動を通して、丈夫な体づくりをします。
- ・生活リズムを整え、健康的に過ごせるように支援します。
- ・基本的な生活習慣を身につけられるように、個々に合わせて支援します。
- ・身近な大人との信頼関係を基本に、自分の要求や思いを伝え、人とかかわる力につなげていきます。

育児支援

- ・子どもの姿や支援内容を保護者と職員が共有します。
- ・保育参観日には、保護者の交流や研修の機会を設け、子どもを取り巻く環境を支えます。
- ・関係機関と協力し、必要なサービスが受けられるよう支援します。

地域支援

- ・交流保育を通して、地域園との連携を図ります。
- ・子どもの発達に応じて、関係機関と連携し、地域園への移行や就学についての支援を行います。

めばえ毎日通園の先生からメッセージ

「子どもの発達がゆっくりで心配です。」「動きが大きくて、なかなか集中できない。」「医療的ケアが必要です。単独通園させたい。」など様々な不安を抱えて、3歳まで育てられたお父さん・お母さんの気持ちに寄り添い、子どもの成長を育んでいきます。子どもの元気な声とかわいい笑顔が毎日飛び交います。また先輩のお母さん方が相談にのってくれる中で、仲間が広がっていきます。

園の特別支援ってなあに？

Bくん、Cちゃんは4歳になりました。現在は地域の園に通いながら、Bくんは「こども発達センターめばえ並行通園」を、Cちゃんは「幼児ことばの教室」を利用しています。集団での活動や予定の変更が苦手だったり、身支度、給食でのつまずきがみられる二人。

毎日の園生活ではどのような支援をうけているのでしょうか？

Q. 園での特別支援って何ですか？

A. 掛川市では平成19年4月から、保幼小中で特別支援教育を推進しています。“特別支援教育”とは、一人一人を大切にしながら、発達の状態を把握し、個に応じた援助をしていく中で、その子のよさを伸ばしながら、苦手なことやつけたい力に応じた保育を保護者の方と連携を密にしながら進めていくことです。また必要に応じて、専門機関とも連携しながら、お子さんの発達を支援していくこともできます。

Q. 集団生活になかなか馴染めない我が子。加配の先生がいる園がありますが、園によって加配の人数などは違うのですか？加配に配置基準などはあるのですか？

A. 幼稚園の場合、国基準では35人までは1人の担任で保育できることになっていますが、掛川市としては、それよりも手厚く、4～5歳児は30人、3歳児は20人を1学級としています。丁寧な支援が必要な子が多く、1人の担任で保育を進めていくことが難しい場合等、園の規模やクラスの園児数、園児の実態を考慮して配置しています。そのため、入園時には、保護者の皆様にお子さんの様子や今までの支援方法をお聞きし、適切な支援ができるよう努めています。

Q. 発達に心配があるのですが、子どものことについて就園前にお話しさせてもらうことは可能ですか？

A. 勿論できます。園によって多少の違いはありますが、未就園児の招待保育等があれば、その時に声を掛けてくださっても結構です。また、電話や直接園に来ていただいたの相談もできますので、是非お気軽に声を掛けてみてください。

Q. 園として、発達に心配のある子に対する勉強会などされているのですか？

A. 園の職員もよりよい対応や支援ができるように、発達の理解や支援方法等についての研修会に参加したり、講師の先生を招いての園内研修、また事例を挙げての職員研修をしたりして、全職員で取り組んでいます。

Q. 子どもの送迎時に、担任の先生とお話がなかなかできずに困っています。そういった時は、電話や連絡ノートでお伝えしてもいいのでしょうか？

A. 電話や連絡ノートを御活用くださって結構です。もし、直接話したい時には前もって、伝えておいてくだされば、担任も時間を取って保護者の方のお話を聞くことができますので、声を掛けてください。詳しいことは、該当の園にお問い合わせくださるとよいでしょう。

Q. 基本的に園にお任せしていますが、日常の様子が気になる時、積極的に伝えてくれない園だと子どもの様子がよくわかりません。希望すれば参観させてもらえますか？

A. もし、お子さんの様子が気になったら、保護者の方から園に積極的に声を掛けてください。できる限り様子をお伝えるようにしていきたいと思えます。参観については、園の参観会の際に様子を御覧ください。個人的な参観については、該当の園にお尋ねいただくとよいと思えます。

Q. ほかのお子さんができることが、なかなかできない我が子に焦りやイライラを感じてしまいます。こういった子育ての悩みについて相談にもっていただくことはできますか？

A. 我が子のよいところはさておいて、できないことに目が行きがちですよね…(わかります)。子どもはどの子でも得意不得意、よいところと課題とするところがあります。きっと、毎日接している保護者の方はいろいろな思いがあると思えますので、是非お気軽に声を掛けてください。

Q. これからの就学に向けても心配です。就学に向けての相談にもっていただけますか？

A. 特に、年長になると就学が目前になり、悩みも増えることでしょうね。お子さんにとって、一番よい就学支援ができるように、保護者の方の思いも十分伺いながら、就学支援を進めていきます。必要に応じて、専門機関とも連携していきます。

Q. 子どもへの対応について、担任の先生に言いづらい場合は特別支援コーディネーターの先生にお伝えしてもいいですか？

A. 勿論結構です。園では、毎日接している担任が子どもの様子を一番よく把握しているので、担任と気軽に話し合える関係作りに心掛けています。そのような信頼関係が築けるような橋渡しをするのも特別支援コーディネーターの役割ですので、保護者の方と担任の関係作りも含めて御相談に応じますので、何でもお気軽に御相談ください。



Q. 発達に心配がある子でも預かり保育は可能ですか？働かないといけないので…。

A. 預かり保育では安全面を考慮し、お預かりする園児の様子を把握しながら行いますので、詳しくは園とよく相談して頂くとよいと思います。

Q. もうすぐ入園ですが、まだオムツが外れていません。大丈夫ですか？

A. 「オムツが外れないと幼稚園に入れなよ」「おもらしすると先生に怒られるよ」など声を掛けていませんか？それよりも入園が楽しみになる言葉を掛けながら、根気よくトイレトレーニングをしてみてください。招待保育で園に行ったときに、園のトイレを親子で経験してみるのもいいですね。オムツが外れていない場合は、入園時に担任に伝え、園と連携して外せるようにしていきましょう。

Q. うちの子いつも叩かれているみたい…。相手の親御さんは知っているのかな？

A. 園で友達関係が広がっていくと、トラブルも増えていきます。言葉で言い合ったり、時には手が出たりすることもあるかもしれません。職員はその都度双方の思いを聞き、対応しています。子どもに話すと共に、必要に応じて双方の保護者にも様子やどう対応したかを伝えています。

Q. 健診で発達の遅れを指摘されましたが、保育所との連携はありますか？

A. 保護者の方の同意の下での連携はあります。相談していただければ、幼児相談・発達検査につなげていくことができます。

Q. 「障害児保育」って何ですか？

A. どの子どもそれぞれ特徴があるので、その特徴とどうつきあっていくかを探っていきながらの保育だと思っています。

Q. 保育所と幼稚園で、支援の違いはあるのかな？(就学のフォロー、特別支援など)

A. 支援の違いはありません。なんでも相談してください。

Q. 療育をすすめられても、働いているので連れていけない。どうすればいい？

A. 園の中で、やれることはやるようにしますが、個別の対応(療育としての)は難しいと思います。医療には繋がっていただきたいです。



Bくんの通う“並行通園”ってどんなところ？

発達が気になりな子どもたちと家族のための教室です。「一人一人の子どもが主人公」をねらいとし、小集団での活動を通して認められる経験をする場として支援していきます。また、お子さんが通う保育所・幼稚園生活が安定して楽しく過ごせるよう、個々にあった支援をしていきます。そしてご家族の皆さんが子どもをより理解し、安心して子育てをしていけるように職員も一緒に考えていきます。また、保護者同士の交流を通して、子育ての情報や知識を交換し合う場所でもあります。

対象児： 年少以上で保育所・幼稚園に通っているお子さんが対象です。
在宅のお子さんも受け入れています。

実施日時： 指定の曜日に通います（月・火・水・金）

時間 14:15～16:10

場所： こども発達センターめばえ・みなみめばえ

日程

14:15～ 自由遊び 担当とのおはなし

14:30～ はじめの会（あいさつ・呼名・おはなし など）

:45～ 主活動

（粘土あそび・サーキット・製作・クッキングなど）

15:00～ 集団あそび・運動あそびなど

:20～ おやつ（どのグループも簡単なおやつを食べます）

:30～ おわりのあいさつ

担当とのおはなし

16:10 終了

- 子どもたちが活動している間、保護者は別室で待っています。
- 年5回程度、保護者同士の交流や学習の場として座談会を行います。



めばえ並行通園の先生からメッセージ

並行通園『とうもろこし』は、活動後に子どもたちから「たのしかったよ。」「これ作ったよ。お母さん、みて。」「今日作ったホットケーキ、お母さんに食べてもらいたい。」「ぼく、サーキットがんなったよ。」と笑顔いっぱいの声が聞かれることを保護者と共に喜んでいきます。並行通園で友達との活動を通して大事にしていることを保護者と共に話し合っています。

0ちゃんの通う “幼児ことばの教室”ってどんなところ？

言語発達の遅れや吃音(ことばのつまり)、構音(発音が正しくできない)に悩んでいる、発達が気がかりなお子さんを対象とした相談・支援機関です。言語発達の遅れがみられるお子さんは、集団生活の中でコミュニケーションが上手にとれなかったり、気持ちを伝えられなかったりなど困り感を抱えていることも少なくありません。子どもたちは園に在園しながら月に2回程度通って療育を受けます。

対象児： 年少以上で保育所・幼稚園に通っているお子さんが対象です。

実施日時： 月～金曜日の9:00～17:00のうち、指定された日時
(お子さんへの指導、保護者の方へのお話しを含め1時間)

どんなことをしているの？

- 基本的に個別指導です。お子さん一人一人に指導計画を作成して指導を行います。
- 正しい音を聞き分ける力や、構音器官の機能訓練を行います。訓練といっても、ゲームや遊びの中でリラックスした環境で行います。
- 物の貸し借り、待つこと譲ることなどを、他者とのコミュニケーションの中で学ぶために行うグループ指導もあります。

- お子さんへの指導後に、保護者の方と指導の様子、その他についてお話しします。
(家での協力・子どもへの対応方法など)
- ことばの教室の指導時間は園において出席扱いとなります。教室に通う際は、保護者との連絡を密にするため、保護者の付き添いが原則です。

※必要に応じて発達検査をします。



ことばの教室の先生からメッセージ

ことばの出るのが遅かったり、赤ちゃんことばが残ったりして、お子さんのことばのことで悩んでいるようでしたら、ご相談にのります。

相談を希望される場合は、まず園の先生にご相談ください。園には、特別支援コーディネーターがいますので、対応してくれます。幼児ことばの教室は、園とも連携を取りながら取り組んでいます。園や家庭での様子をお聞きしながら、一人一人にあった指導を考えていきます。



医療機関を受診する

子どもと親をサポートする機関の一つが病院です。

電話で問い合わせをしてからの相談、受診になります。病院によっては、診察の予約日がいぶ先になってしまうところもあります。心配がある時には早めの予約がポイントです。

受診する前に…

- 病院によっては紹介状が必要なことがあるので事前に確認しましょう。
- 初めての受診は緊張するものです。健康保険証・子ども医療費受給者証・母子手帳を忘れずに。
- 成育歴・病歴・通院歴を整理して持っていきましょう。家庭・園や学校での様子、医師に質問したいことなどをまとめておくとスムーズです。

園や学校から受診や発達検査を勧められるのはどうして？

お子さんへの支援方法、検査から分かるその子に合った指導の方法を知りたいからです。受診を有効にするために、医療にかかる前に集団生活でお子さんが困っていることや、先生からの質問など事前にまとめてもらい持参するとよいです。

医療機関や療育でよく聞く用語解説



OT(オーティター)＝作業療法

遊びを中心としたいろいろな作業を通じて、子どもの運動、精神、社会的な発達を促す働きかけを行います。

PT(ピーティアー)＝理学療法

基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行なわせ、及び電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えることをいいます。

ST(エスティアー)＝言語療法

言語やコミュニケーションの発達の遅れに対して評価・訓練・援助を行います。

どうして病院につながるの？

病院受診はどんなタイミングですればいいのかな？など、悩んでいるけれど、なかなか聞けないあれこれを、お聞きしてきました。

Q. 病院に受診するメリットは何ですか？

A. 就学前の受診の一番のメリットは、診断を受けたり、病院を介すことによって、受けることのできる公的なサービスを探ることができるというものだと思います。

Q. 医療でできることはどんなことでしょうか？

A. 症状に応じて、根本的な原因を探り治療したり、服薬によって症状のコントロールをしたりすることが医療でできることではないでしょうか。

Q. 病院での初診はどんなことをしますか？

A. 普通の診察をしながら、発達の評価をしていきます。発達検査を行う場合もあります。

Q. 病院に受診する際に、準備しておいたほうがよいものはありますか？

A. 母子手帳と家庭での様子や集団での様子がわかるように準備しておくといいかもしれません。

Q. 服薬した場合どうなるか、教えてもらうことはできますか？

A. できます。薬の効果や副作用など、説明しますのでご相談ください。

Q. どんなときに服薬を勧められるのですか？

A. 生活を送る上で困ってしまう時に勧めています。

Q. 服薬させることに不安があります。依存性や副作用がこわいのですが大丈夫でしょうか？

A. 薬で解決することはほんの少しです。小さいお子さんの場合は、行動を服薬によって制限することで、安全に過ごすことができるのなら、そのメリットを優先した方がよいと考えています。



Q. 一度、服薬を始めると、ずっと大人になっても飲み続けなければいけませんか？減量したり、中止になることはありますか？

A. 状態によって、減量や中止になったり、頓服で必要に応じて飲むということもあります。

Q. 転勤が決まりましたが、病院についての相談や紹介はしていただけるのでしょうか？自分で探さなければいけませんか？

A. 紹介状は書けますが、紹介先の病院についてはご自身の目で確かめられたほうが良いと思います。

Q. 診察中に子どもが会話の内容を理解するようになってきました。そのため診察後に「～って何？」「どうして病院に行かなければならないの？」など質問してきます。本人の前で本人の話をしづらくなってきました。保護者だけで相談することはできますか？

A. 診察の際は、お子さんの様子を見て診察することが重要なので、なるべくお子さんも一緒に来て頂きたいと思います。

Q. 子どもへのカミングアウトはいつかはするものなのですか？その場合、医師から子どもに説明してくれるのですか？カミングアウトに最適な時期はあるのですか？

A. 本人に対して、診断名を伝えるというよりは、本人の苦手なことに対してのアドバイスを伝えていくという感じでよいと思います。

Q. 災害等に備えて、薬の処方をもめにいただくことはできますか？

A. 薬によっては、管理が必要で処方できる日数が決められているものもあるので、ご相談ください。

Q. 保護者向けに発達障害の講演会や研修などを開催してほしいのですが。

A. できる範囲で対応しますので、ご相談ください。

Q. 待ち時間に騒いでしまいます。別室や車での待機をしたいのですが…。

A. 小児科の受付にご相談ください。

Q. 学童期以降は、どんなところで診てもらえるのですか？

A. 一般的には小児科は15歳までとなっていますが、必要に応じて診ています。成人以降は状態に応じて精神科などへの受診になってくることと思います。



医療機関の紹介

中東遠総合医療センター 小児科

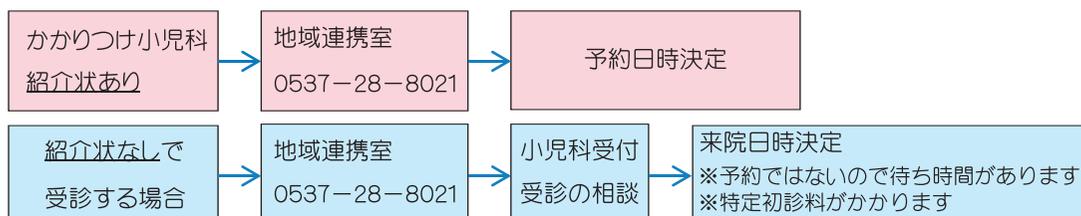
小児科は小児の総合的な診療を担当する科です。生まれてから大人になるまでの間、体の病気にも、こころの問題にも対応していきます。順調に発育しているかを確認する乳児健診や病気にならないために行う予防接種も担当します。

病院の中にはいろいろな診療科があります。お子さんのことで、どこの科にかかったらいいのか、わからない場合には、まず、小児科にいらしてください。

お話をおうかがいしたうえで小児科で対応できる場合には対応します。適切な診療科をご案内させていただく場合もあります。子どもたちについてのいろいろな“知恵”と“経験”を持っています。

中東遠総合医療センターHP より抜粋

〈発達外来受診の流れ〉



- 予約の際に「発達に心配があるので診て欲しい」「診断書が欲しい」等伝えてください。
- お子さんの日頃の様子について、園や学校の先生に情報提供（生活状態、気になる点、困っていることなど）を簡単に書面にしてもらい、受診当日に持参してください。

デンマーク牧場福祉会 こひつじ診療所

診察科目 精神科 心療内科 児童精神科

医師 武井陽一 土岐篤史

電話 初診:0538-23-0660 ※初診・再診ともに予約制

住所 袋井市山崎5902-185

診療時間 曜日によってかわります。詳しくはHPを参照してください。

※土曜日は第1.3.5の午前・再診のみ

- 小回りのきく精神科、心療内科中心の診療所として、地域に密着しつつ、特色のある福祉医療活動を実践、展開しています。※発達・知能検査を実施しています。



医療法人好生会 小笠病院

電話 0537-22-2288 住所 掛川市篠場708

受付時間 8:30~11:30(予約制)

診療時間 9:00~12:30 ※曜日によって多少異なりますのでお問い合わせください。

休診日 日曜・祝日・年末年始

診察科目 精神科 神経科 検査 発達・知能検査、性格検査 ※6歳頃より可能。

- 受診をご希望の方は、まずはお電話でご相談下さい。

浜松市発達医療総合福祉センター はままつ友愛のさと

電話 初診:053-586-8804 再診:053-586-8801
住所 浜松市浜北区高園775-1
診療時間 9:00-17:00(完全予約制) *土日祝・年末年始を除く
診療科目 小児神経科、児童精神科、耳鼻咽喉科、眼科、整形外科
検査 発達・知能検査、脳波、心電図、筋電図、遊戯聴力検査、聴性脳幹反応、エックス線検査等
スタッフ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士・視能訓練士・保育士
★乳幼児から概ね中学3年生までのお子さんが対象です

子どもの「こころ」と「からだ」の発達を専門とする医療・療育機関であり、小児神経科医師・児童精神科医師による診療を行っています。

併設する療育センターのスタッフと連携し、個別訓練、療育、ソーシャルスキルトレーニング、ペアレントトレーニング等を実施しています。

幼稚園・保育園・学校などとの連携、家庭内の課題については、保健師・ソーシャルワーカーが支援します。

初診に関する申込み・相談

相談支援事業所シグナル(Tel 053-586-8804)までお電話ください。

- ・初診日を決定するとともに、持ち物等の案内をします。
 - ・紹介状等、事前にご準備いただく書類について説明します。
- ※初診予約には医療機関からの紹介状が必要です。

初診当日の流れ

- ①問診票のご記入の後、ソーシャルワーカーの面接があります。
- ②医師の診察を受けます。
- ③お会計 (ここまで2時間程度かかります)

子どものこころの診療所

電話 初診:053-452-8080 再診:053-452-8083
住所 浜松市中区鴨江2丁目11番1号
診療時間 8:30~17:15(完全予約制)※土・日・祝日、年末年始を除く
検査 発達・知能検査の実施 言語聴覚士・臨床心理士
・乳幼児期から学童思春期までの包括的な児童精神科診療
・臨床心理士によるペアレントトレーニングの実施
・言語聴覚士による言語訓練の実施(主に幼児期)
※初診予約には医療機関からの紹介状が必要です。
※中学三年生までのお子さんとその保護者の方が対象です。





発達・知能検査について知ろう

検査の理解と支援に役立てるために

お子さんの相談をしていく中で、発達・知能検査を勧められることがあるかもしれません。「検査をしましょう」と、言われたからやってみただけでも、説明を聞いてもよく分からなかったという方もいらっしゃるかと思います。検査ってどんなものなのでしょう？子どものことを知るひとつのヒントとして、見てみましょう。

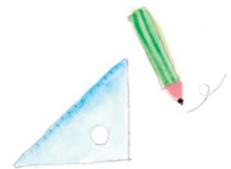
検査を受ける前に…

検査では、簡単な作業をしたり、質問に答えてもらいます。時間は1~2時間程度です。小さなお子さんで集中できない場合は何回かに分けて行います。受けられる検査の種類、検査員のレベル、保護者への検査結果の報告の仕方は様々です。事前に確認しましょう。

advice

検査は子どもが日常生活でどんなことに困っているか、困りそうか、それを知る一つの手立てになります。保護者と先生が共通理解をもって、園、学校生活で子どもを支えていくことが必要です。できていること、得意なことをあたりまえだと捉えることなく褒め伸ばし、苦手なことはスモールステップで行い、励ましながら一緒に取り組んでみましょう。できた時には心から褒めることが大切です。

検査の種類と検査によって見えてくる子どもの姿



◆ K-ABC 適用年齢2歳6か月~12歳11か月

子どもの得意な問題の処理の仕方(認知処理)の方法を知ることが出来ます。教育的支援に活かす検査です。

◆ ビネー式知能検査(田中ビネーV) 適用年齢2歳~成人

知的な能力をおおまかに把握し、何歳ぐらいの知的な力を持っているかを知ることによって適しています。療育手帳の判断によく利用されます。

◆ **新版 K 式発達検査** 対象:0歳～成人 (所要時間 30分程度)

領域	検査内容の例	発達段階の見方
姿勢・運動 (P-M)	・ 寝返り、ケンケン、 歩行 等	姿勢や運動能力
認知・適応 (C-A)	・ 見本と同じものを積み木で 作ったり鉛筆で書く ・ 場所の記憶 等	目と手の協調 物と物との関係、形の分別能力
言語・社会 (L-S)	・ 絵を見て言われたものを 指差して答える ・ 数唱、計算 ・ 聞いた言葉を真似して言う ・ 日常的な事に関する質問に答える等	語彙数、身体部分の理解 自分の姓名や性別 実物と絵の連合 数の概念、記憶能力 比較判断能力

主に乳幼児の発達の度合いを調べ、養育に役立てるための検査です。新版 K 式発達検査 2001 を含む発達検査では **DQ (発達指数)** というものが算出されます。

- ・ 100 が平均的な値です。(80 以上～120 未満の範囲が概ね平均的な水準)
- ・ 3歳以上では「認知・適応」面、「言語・社会」面に、検査の重点を置いています。
- ・ 通過した項目には+ (プラス)、未通過の項目には- (マイナス) の符号を付けます。
+記号から-記号へ移行する場所を、線で区切りながら折れ線を描きます。
これがプロフィールになります。

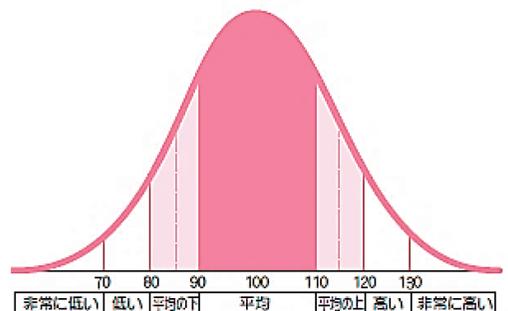
◆ **ウェクスラー式知能検査**

WPPSI(ウィプシー) WISC-III(ウィスク・スリー) WISC-IV(ウィスク・フォー)

個人の得意・不得意などの特徴を知ることにも適しています。そのため支援の手立てを考える資料として広く活用されています。IQ以外にも行動面、初めての場所や人での反応や集中力、多動性、衝動性、こだわり、手先の不器用さなどの様子も観察します。

IQ とは？！「知能・能力・理解力」の指数

同年齢の子どもに比べてどのくらいの力があるのかが分かります。平均を100とし、85～115の間に68.2%、70～130の間に95.4%の子どもが入るよう作られています。



IQ が「低い」「高い」というのは、統計的位置を表した用語

WISC-IV (ウィスク・フォー) 適用年齢:5歳~16歳11か月



※検査からわかる支援と工夫の一例です。お子さんの状態も人それぞれですので、実際に検査を受け、分からない事や具体的な支援方法を検査者にアドバイスしてもらいましょう。

苦手な指標	お子さんの状態	学習面などでの困難	支援・工夫
言語理解	<ul style="list-style-type: none"> ○絵や図などでの理解 ○複雑な言語理解をとまなわ ない聴覚的な記憶 △言語での理解・表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数の文章問題等の理解 ・日時や場所、あげる・もらうな どの理解と表現 ・音読はできて内容の理解を していなかったり、意味を問 違えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示は簡潔に丁寧に ・絵や図で示す。実際の生活と 結びつけたりお手本を示す ・約束は紙に書いて確認 ・文章問題のキーワードに注目させ たり、内容を絵や図で示す
ワーキング メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ○絵や図などでの情報の 理解や操作 △イメージや意味づけしにくい 耳からの情報の記憶 △言葉での理解や表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き間違い、聞いたことを忘れる ・少し雑音があると注意がそれ やすい ・簡単な計算の暗算・九九 ・相手の話を最後まで集中して 聞いてもらえない 	<ul style="list-style-type: none"> ・注意の集中を促してから話しか け、説明・指示は短くする ・絵や図、文字やモデルを補助的 に示して伝える ・紙を使って計算させる ・九九表の使用の許可 ・メモをとる習慣をつける
知覚推理	<ul style="list-style-type: none"> ○耳から入る情報の記憶や 理解 ○言語での理解・表現 △目で見た情報を推理したり、 まとめること △物事を空間的、総合的に処理 すること。また、動作を表現す ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日記、作文などの文章をまと めること ・整理整頓が苦手 ・表や図にまとめる事 ・場面や状況、社会的なルール を理解できず、行動がそぐわ ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・順を追って言葉で説明する ・具体的に物などを使いながら 言葉での補足もする ・しまう場所に目印をする ・ルールは言葉を用いて一つ ずつ確認を行う ・場面や状況、気持ちなどを分かり やすい言葉で伝える
処理速度	<ul style="list-style-type: none"> ○耳からの情報の記憶や 言語での理解や表現 ○目で見た情報を推理したり まとめること △不器用さがある △目で見た情報の記憶 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の書き写しが難しく、書く のが遅い ・必要な道具が見つからず、 準備が間に合わない ・活動時間内に終わることがで きない ・計算の記号の理解が難しく 計算に時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を分かち書きにして示す ・文字を大きくしたり、見本を近く におく ・順を追って丁寧に説明 ・課題に費やす時間を充分にとつ たり、使いやすい筆記用具を用 意する ・課題の優先順位を考える

参考資料:長野県極低出生体重児支援サイト「たいせつなきみ」<http://www.taisetsunakimi.net/>



就学の流れ

(平成28年3月現在)

	保護者	園・めばえ	教育委員会
年少～ 年中	年長になる前から、就学について相談したり考えたりすることが大切です	教育相談・巡回相談	(就学相談) 事前にご連絡ください
年長 4月	就学に関心のある場合、園に申し出ます	教育相談・巡回相談	保護者が学校・学級見学 後、園との話し合い
5月	自閉症・情緒の特別支援学級を考えている場合、診断書が必要となるため、病院に早めに受診しましょう	園が窓口になり調整 必要に応じて面談	↓ 市就学支援委員会での 審議 (5月・9月・10月)
6月	学校見学・・・必要に応じて園の先生が付き添います		↓ 保護者と園の話し合い
7月 8月 9月	↓		
10月 11月	就学時健診 ※学校によって日程が異なります 検査内容:内科・眼科・耳鼻科・歯科・視力・聴力・知能検査	通級対象児 ↓ 面談	※上記を繰り返しながら適切な学びの場を支援していきます
12月	就学先決定(最終)		書類の提出
1月 2月 3月	入学に必要な学用品の注文・お道具箱の中身など子どもと一緒に準備	・保幼小連絡会議 ・めばえ並行通園利用児の移行支援会議(保護者・学校・園・めばえ)※	
4月	入学 子どもが不安になりそうなら、事前に先生に相談、確認		

※「めばえ」には「みなみめばえ」も含まれます。



先輩ママより

悩み、時には涙を流しながら日々揺れる決断。

正しい答えはないのかもしれませんが、けれども決めなければいけない日は必ずやってきます。

でも大丈夫、ここはまだ通過点。親も子どもも、まだ成長の途中だと思っています。

就学についておしえてください

とっても気になる就学のはなし。聞きたいあれこれを、教えていただきました。

Q. 就学支援委員会ってなんですか？

A. 障がいのある幼児、児童について、障がいの種類、程度等に応じて適切な就学に関する支援を行う委員会です。

Q. 就学支援委員会の構成メンバーを教えてください。

A. 委員会は、教育学、医学、心理学など、障がいのある幼児、児童生徒の就学に関する専門的知識を有する者で構成しています。

Q. 一人の子どもに対してどれくらいの時間で判断されるのですか？

A. お子さんにより審議時間は異なります。それぞれのお子さんの障がいの種類、程度等に応じて、適切な就学先はどこになるのか、丁寧に審議しております。

Q. 最終的に就学先を決めるのは誰ですか？

A. 最終的に就学先を決めるのは保護者の皆さんになります。掛川市では、県立特別支援学校であれば、入学願出書を、特別支援学級であれば入級承諾書を、保護者の方に記入していただき、園や学校を通して、市教育委員会に提出をしていただいております。

Q. 判断をいただくのが怖いです。判断は必ず受けるものなのですか？また、判断通りにしなければいけないのですか？

A. 保護者が最終的に就学先を決定することになりますので、判断通りにしなければいけないということではありません。ただし、その子の適切な学びの場はどこかということについて、専門的知識を有する委員が審議していますので、参考にさせていただきたいです。

Q. うちの子どもは、グレーゾーンと言われていてどこの学級に入れたらいいのか悩んでいます。そういった時に、就学先を選ぶポイントがあれば教えてください。

A. 今の、その子に必要な学びは何かということがポイントになると思います。また、お子さんの日常生活における支援の必要度や社会生活への適応の困難度も就学先選びのポイントになると思います。

Q. 特別支援学校と特別支援学級の違いは何ですか？

A. 特別支援学校と特別支援学級では、目標とするところが異なり、教育課程・カリキュラムが異なります。その子に必要な学びは何か、適切な学び場はどこかということをお考えいただければと思います。

Q. 就学先を考えるにあたって、身辺自立について問われますが、なにがどこまで出来ていけばいいのか、具体的なところを教えてください。

A. 例えば、食事、衣服の着脱、排泄、安全な移動を支援がなくても自分でできるかということになります。

Q. 現在、特別支援学級に在籍しています。今後判断が見直しされる場合もありますか？

A. 特別支援学級に在籍のお子さんも、毎年、就学支援委員会で審議をしていますので、判断が変わることもあります。

Q. 校区に特別支援学級が無い場合は、兄弟も同じ学校に通わせることはできますか？

A. 手続きが必要になりますが、通わせることはできます。まずは教育委員会にご連絡ください。

Q. 学校見学はどのようにすればいいですか？

A. まず、お子さんが通っている園や学校にご相談ください。園や学校が窓口となって対応します。

Q. 特別支援学級に在籍する場合は、病院の先生からの診断が必要ですか？

A. 知的学級への入級の場合は、医師の診断書は必要ありませんが、自閉症・情緒学級への入級の場合は、医師の診断書が必要になります。

Q. 転勤が決まりました。初めての土地なので、特別支援学級の情報がわかりません。学校見学をして決めたいのですが、どこに相談すればよいですか？

A. 転勤先の市町教育委員会に相談してください。



Q. 地域の小学校に特別支援学級がない場合は、どうしたらよいですか？開設してもらえるのでしょうか？

A. 特別支援学級学区規定で示されている学校に就学することとなります。開設に関しては申し訳ございませんが、希望があるからといって、簡単に開設できるものではありません。

Q. 地域の小学校に特別支援学級はありますが、他校の特別支援学級の雰囲気がよく行かせたいです。希望すれば入学することはできますか？引越しなければいけませんか？

A. 学区規定がありますので、希望により学校を選択することはできません。いろいろな特性を持ったお子さんが集まる中で、苦しい状況の時もあるかもしれませんが、どの学校でも、一人一人を大切にしたい温かい学級運営を心がけていますので、ご理解いただきたいと思います。

Q. 勉強や友人関係についていけなくなってきました。年度の途中からでも特別支援学級に移行することはできますか？

A. 年度途中では、移行することはできません。翌年の4月からの入級に関しては、その年の就学支援委員会(5月・9月・10月)で審議し、12月までに意思決定をしていただくことになっています。

Q. 特別支援学校から地域の小学校に移行することもできますか？

A. できます。お子さんの成長により、県の就学支援委員会で審議され、適切な「学びの場」が特別支援学校ではなく、特別支援学級という判断になれば、移行することになります。

Q. 早く就学先を決めたいと思ってはいても決めかねていて不安です。いつまでに決めればいいのですか？

A. 入学・入級に関しては、前の年の12月までに決定をお願いしています。お子さんの大切な就学に関して、保護者の皆さんをあせらせてしまっているようで、申し訳ございません。時間的余裕をもって、保護者の皆さんの意思決定ができるように、市教育委員会としましても、園や学校に呼びかけていきたいと思ひます。



先輩ママ・学校の先生にお聞きました！

入学前にやっておくといいこと♪



子どもの話をじっくり聞いたり、一緒に遊んだり。そういった時間を就学前は大切にしてください。そして「小学校は楽しいところだよ」と、お子さんにたくさん声掛けてあげてください。

☆ 入学予定の学校に子どもの特性を伝えてみましょう

- ・ 子どもの苦手なこと、好きなこと、コミュニケーションの取り方などをまとめる

☆ 入学予定の学校に慣れておこう

- ・ 運動会などの行事に子どもと一緒に見学に行く
- ・ 月に一回、放課後に小学校に来る移動図書館は、誰でも利用できます。日時を確認して、お子さんと一緒に本を借りに行くのもいい機会です
- ・ ランドセルを背負い通学路を歩いて、危険な場所、交通ルールの確認
※登下校に関しては、学校と事前によく話し合いをしておきましょう

☆ 身の回りのことができるように練習しておこう

- ・ 食事、着替え、トイレ(洋式・和式)
- ・ 座って学習することを少しずつ習慣づけしておく

☆ 入学式が心配…。そんなときは？

慣れない場所や見通しが立たないことに不安をもつお子さんは多いと思われます。心配がある時は入学式当日の一日の流れを、お子さんと実際に動きながら確認したい旨を入学予定の小学校の先生に相談してみましょう。その際に、子どもと接する先生とお会いしお話しすることも大切です。



さあ！いよいよ、学校生活のスタート！

Aくんは、特別支援学校へ、Bくんは、特別支援学級へ、Cちゃんは、通常学級へと学びの場を決めました。それぞれ、どのような学校生活になるのでしょうか？

学校や、学級の概要についてご紹介します。

特別支援学校については P 30 へ

特別支援学級については P 31 へ 通常学級については P 31 へ

特別支援学校

静岡県立掛川特別支援学校：教育目標 「元気、笑顔、夢の実現」

一人一人が自分の能力や可能性を最大限発揮し、命の大切さを基本に人や社会とつながり主体的に生活する人を育てていきます。

目標	身辺自立や社会全般の基礎的な力を養う(小学部)
学級の種類	知的 肢体不自由(知的重複)
学級編制	個々に合わせ学習グループを編成
登下校	スクールバスまたは保護者送迎
通学区	掛川市(旧掛川市、旧大東町)、菊川市、御前崎市(旧浜岡町) ※掛川市(旧大須賀町)については、 静岡県立袋井特別支援学校 となります。
学習	生活単元学習・日常生活の指導といった教科等を合わせた学習が中心 国語、算数は毎日 40 分・体育は週 3回・音楽、図工は週1回
卒業後の主な進路	特別支援学校中学部

〈小学部の教育〉

知的障害教育方針:子どもたちが周囲のものや人と関わりながら「やってみよう→(やったら)できた→またやってみよう」という成功体験を積み重ねることを通し、身辺自立や社会性等生活全般の基礎的な力を養います。

肢体不自由教育方針:子どもたちが周りの世界と生き生きと関わる姿を目指し、その基盤となる健康、姿勢、運動、認知の成長・発達を促します。達成感、成就感に満たされた学校生活を創造し、子どもたちの自己肯定感の向上を促し、生活への意欲を引き出します。

■個別の教育支援計画…お子さんが生活する地域で豊かに暮らすことをめざします

障がいのある児童生徒一人一人を関係諸機関(教育、医療、保健、福祉、労働等)が連携して効果的に支援するための計画です。関係者が本人及び保護者の願いや目標、支援内容、支援方法等の情報を共有したり役割分担したりして適切な支援をしていくための道具(ツール)です。

■ふれあいフェスタ

地域とのつながりを大切にし、子どもたちの良さを地域の方々に知っていただく機会として11月の土曜日に開催しています。子どもたちは日頃の学習の成果を発表します。中高等部生徒の自主生産製品のバザーもあります。

県立掛川特別支援学校 HP <http://www.edu.pref.shizuoka.jp/kakegawa-sh/home.nsf>



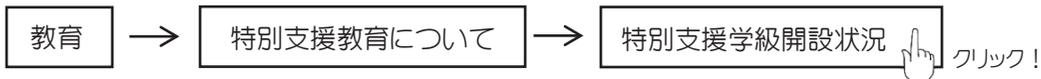
特別支援学級

目標	生きる力をはぐくむ
学級の種類	知的 自閉症・情緒 肢体 弱視 難聴
学級編制	8人 ※様々な学年の子どもで学級を編制
登下校	登校グループで集団登校 同学年の子ども達と下校 ※お子さんが安全に登下校できるように、事前に入学予定の学校に相談してください
学習	通常学級とほぼ同じ時数の教科学習 通常学級の児童といっしょに学習する交流学習もあり、生活単元学習や自立活動がある場合もあります。(交流学習の教科や時間数はお子さん一人一人異なります。)
卒業後の主な進路	中学校の通常学級・特別支援学級 特別支援学校 中学部

■特別支援学級開設状況

学校によって、開設している特別支援学級が異なります。

特別支援学級の開設状況は掛川市のHPで確認できます。(下記参照)



掛川市の特別支援学級では、なかよし遠足、なかよしフェスティバルなどの行事が行われ、小中学生と一緒に楽しく交流、活動をしています。(年度によって日時、開催等異なります。)また、保護者へ向けて、中学卒業後の進路学習会なども行われています。詳細は学校からのお便りなど参考にしてください。

通常学級

目標	生きる力をはぐくむ
学級編制	35人(静岡式) ※1人の学級担任が指導
登下校	登校グループで集団登校 同学年の子どもたちと下校 ※お子さんが安全に登下校できるように事前に入学予定の学校に相談してください
学習	教科学習
卒業後の主な進路	公立・私立中学校

特別支援学級・通常学級での子どもと親への支援・相談場所

学校生活の中で、子どもや保護者に対してどのような支援があるのでしょうか？
悩んだときは相談できる機会を上手く利用してみましょう。

■**特別支援コーディネーター** 保護者の相談の窓口となったり、校内外の関係者の間を連絡調整したり、学校の特別支援教育を推進する役割を担っています。

■**「個別の支援計画」**…障がいのある児童・生徒が将来にわたり、豊かな生活を送ることを願い、作成されるもの

保護者も支援者の一人として、保護者の思いや願いを聞きながら、関係機関と連携して、一人一人のニーズに応じた明確な支援を行うための、支援目標や支援内容について記したものです。個別面談の際に、お子さんの実態や環境の変化に応じて支援計画の見直しをしていきます。

■**スクールカウンセラー教育相談**

子どもの成長や教育のことで気になることなど、どんなに小さなことでも相談できます。

相談員： スクールカウンセラー

- ・専門的な知識をもつ臨床心理士が悩み・相談に答えます。
- ・中学校区ごとに同じスクールカウンセラーが巡回し、小中連携のもとに支援しています。

場 所： 子どもが通学している学校

日 時： 月に1回程度

※学校からおたよりが配布されます。

希望者は、申込書を提出します。

■**巡回相談員**

担任や特別支援コーディネーター、保護者等からの相談を受け、専門家が助言・援助を行います。



■**学校サポーター**

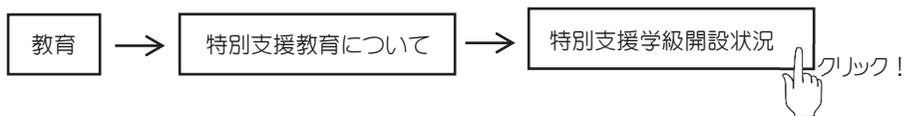
特別支援教育充実に向け、支援が必要であると判断された学校に派遣され、特別な支援を必要とする児童・生徒の支援にあたる担任の補助を行います。

通級指導教室

通級指導とは

- ・小中学校において、各教科等の授業は通常の学級で受けつつ、障害の改善・克服に必要な特別の指導を、「通級指導教室」といった特別の指導の場で受ける形態です。(学校教育法施行規則73条)
- ・対象児童は、市就学支援委員会を通して決まります。学校と保護者が話し合って利用するかを決めます。通級指導の終了や開始は、年間を通し随時行われます。
- ※尚、「特別支援学級判断」では「通級指導教室」には通えません。

通級指導教室の開設状況は掛川市のHPで確認できます。(下記参照)



1. 言語通級指導教室

言葉の癖があったり、みんなの中でお話ができなかったりする等、「言葉」に何らかの課題を抱えているお子さんを支援するための教室。

- ・発音の誤り（構音障害）
- ・どもってしまう（吃音）
- ・言葉の遅れ

< 活動の一例 >

- ・プレイルームで心身の解放を測ったり、運動機能の向上を促したりする。
- ・指導室(微妙な音を聞き分けたり集中したりするため二重窓を設置)で、興味関心に合わせて、ゲームなどを取り入れながら楽しく指導を受ける。

2. 発達通級指導教室

学習や友だちとの関わりなどで、苦手なことがあるお子さんに対し、在籍校と連携しながら、支援をするための教室。

- ・一生懸命やっているのに、苦手な学習がある。
- ・一生懸命やっているのに、不器用さがあり、うまくいかないことがある。
- ・こだわりが強かったり相手の気持ちをくみ取るのが苦手だったりするため、友だちとの関係がうまくいかないことがある。
- ・自分の気持ちをうまく言葉で伝えられないことがある。
- ・長い時間は集中できず、衝動的に行動してしまうことがある。
- ・些細なことでもいらいらしたり辛くなったりしてしまい、怒ったり乱暴になったりしてしまうことがある。



Interview 6

小学校特別支援コーディネーターさんにお聞きました！

小学校の特別支援について教えてください

学校には「特別支援コーディネーター」という名前がついた先生がいます。特別支援コーディネーターの先生はどんなことをしているの？また学校生活で気になるあれこれを、お聞きしてきました。

Q. 特別支援コーディネーターの役割について教えてください。

A. 子どもたちは誰もが「うまくなりたい。」とか、「なかよくしたい。」と思っています。でも、うまくいかなくて、怒ったり、やる気がなくなったりしてしまう子もいます。私たちは、そういう子を「(子ども自身が)困っていて支援が必要な状態」ととらえています。

特別支援コーディネーターは、支援が必要な子どもを中心に、その周りの関係者を「つなぐ」役割をしています。校内では、その子のチームを作り、情報や指導の共有化を図ります。また、家庭と連絡を取り合ったり、必要に応じて外部機関と家庭を結ぶお手伝いをしたりします。

Q. スクールカウンセラーとの違いはなんですか？

A. 学校に関する様々な出来事の対応に、専門的な心理学の知識が求められることがあります。スクールカウンセラーは、そのような専門的知識をもち、心理相談を行う専門家のことをいいます。小学校では、多くの場合、月に一度ほどスクールカウンセラーの相談日を設けています。

Q. 校内就学委員会ってなんですか？

A. 校内就学支援委員会といいます。支援が必要な子に対して、実態を把握し、どのような指導が必要なのか、どのような教育環境が必要なのかを話し合う会議です。

Q. 小学校の支援員の先生はどのような場合につくのですか？

A. 学校の要請に市の教育委員会が応じて派遣します。人数の関係もあり、要請した人数通りに派遣されるとは限りません。校内では、支援の必要度に応じて支援の方法を決めていきます。県教育委員会が派遣する支援員もあります。

Q. 特別支援学級では、他の学年の生徒と一緒に授業をすることもありますが、どのようなやり方をしているのですか？

A. 学年が同じでも、お子さんの様子に応じて学習する内容や方法が違ってきます。

45分間の授業時間の中で、個別にしっかり教える場面と、プリントで反復練習する場面を分けておこなっています。個々で時間をずらして行うことで、なるべく個別指導の時間を確保しています。また、教室を3つぐらいに区切って、学年ごとに教えることもあります。学活など、関わりが必要な学習の時は、学級全体で学習します。

Q. 特別支援学級への就学を考えていますが、特別支援学級での学習内容は、通常学級と違いますか？

A. お子さんの実態によって変わります。その学年の教科書を使って学習する子もいれば、下の学年の内容を学習する子もいます。生活に必要な事柄を各教科等の内容と合わせながら体験に学ぶ「生活単元学習」を行っている学級もあります。通常学級、特別支援学級にかかわらず、大事なことは「将来の自立」なので、今、どの学習方法で、どんな学習をすれば将来自立できるか意識しながら行っています。

Q. 特別支援学級の成績の付け方はどのようにつけていますか？

A. お子さんの実態によって変わります。通常学級の基準で同じようにつける子もいれば、学習したことやできたことなどを記述して行う場合もあります。学習の成果を、今、どんな方法でご家庭に伝えるのが一番伝わるかを考えながら行っています。

Q. 特別支援学級と通常学級との交流はありますか？

A. お子さんによって交流の仕方は違いますが、あります。教科の特性やお子さんの様子によって交流する教科や方法が変わります。また、同じ教科でも学習する内容によって交流して学習することもあります。お子さんに負担のない方法で（でも頑張る場面も考えながら）交流の方法を考えています。

Q. 入学前に同じ特別支援学級に通う保護者の方と話しができる機会があればいいなと思います。（知り合うきっかけもないので）

A. そうですね。初めての場所って不安ですね。入学する学校に相談してみると、いい方法がでてくるかもしれません。

Q. 個別の支援などはどのようにしているのですか？

A. 「特別支援学級では他の学年と一緒に授業をする…」の項をご覧ください。

将来の自立に向けて、今、どんな指導が必要なのかをおうちの方と考えながら、その子に応じた支援をしていきます。

Q. 特別支援学級に在籍することで、いじめなどにあわないか心配です。そういった時はどなたに相談すればいいですか？

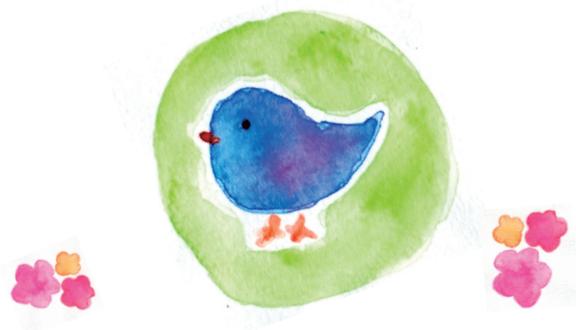
A. そういった場合は特別支援学級担任に言ってください。また、通常学級の担任も特別支援学級の子たちを気に掛けており、いじめの未然防止や対処については、学校全体で組織的に行っているため、心配なことがありましたら気軽に声をかけてください。

Q. 進級の時に先生が変わる場合、子どもに対しての理解がきちんと引継ぎされるか心配です。子どもに対する情報を共有するような機会はありますか？

A. あります。進級する場合は、その子に関する情報を文書で表したり、特別支援コーディネーターが引き継いで次の担任に渡したりします。進学する場合は、事前に特別支援学級担任や特別支援コーディネーター同士で情報交換会を行います。通常学級の子でも同様です。

Q. 通級指導教室に通いたいです。どうしたら通えますか？

A. 通級指導教室は、学校の学習方法の一つです。まず、担任の先生に相談してください。





学校に行けなくなったら

学校に自分の居場所がなくなると子どもが感じた時に、周囲の大人は何をしたらよいのでしょうか？「学校に行きたくない」のではなく「学校に行きたくても行けない」という本人の辛さを受け止めることが出来る様に、まずは支援してくれる場所や相談機関を知っておきましょう。

適切な支援と配慮が受けられるよう相談しましょう



担任 特別支援コーディネーター 生徒指導主任・主事
スクールカウンセラー 保健室（養護教諭）

● 掛川市教育センター

子ども保護者の悩みごと全般の相談・援助を電話や面談により行います。

「不登校」「いじめ」「対人関係」「身体に関すること」「就学・進路」「性格・行動」「学習」「躰」などについて

【 お問い合わせ 】 平日 9:00～16:00 TEL:0537-72-1345

◆ 不登校児童生徒のための適応指導教室「みどり教室」

子どもたちにとって心がほっと安心する楽しい場所を提供し、いろいろな活動を通して、子どもたちの自立心や自己肯定感を高めることを目標とします。

活動日 月曜から金曜の週5日間(学校の休業日を除く)

活動時間 9時30分から15時(ただし水曜日は9時30分から12時)

場所 ・掛川市三俣620番地 掛川市役所大東支所4階

・掛川市長谷433番地 掛川市つくし会館2階

活動内容 学習(教科書、ドリル、問題集、読書など) 運動(卓球、バドミントンなど)

創作(工作、手芸など) ふれあい(トランプ、ボードゲームなど) 栽培(野菜づくり)

主な行事 遠足、社会見学、調理実習、お楽しみ会など

※一日の活動の流れに乗るのがつらい時は、自分のペースに合う自由な活動を選ぶこともできます。

【 お問い合わせ 】 掛川市教育センター(みどり教室専用電話) TEL:0537-72-1345

● 掛川市教育委員会 学校教育課

発達が気になる子どもや障がいのある子どもの教育・就学相談

【 お問い合わせ 】 平日 8:30～17:15 TEL:0537-21-1156



● 家庭児童相談室 こども希望課

子育ての悩み、発達上の問題、不登校や非行など、子どもや家庭に関するさまざまな問題について家庭児童相談員がお話を伺いながら解決策を一緒に考えていきます。

電話相談、来室相談どちらでも出来ます。(掛川市役所1階こども希望課内)

【 お問い合わせ 】 平日 8:30~16:30 TEL:0537-21-1190

● 静岡県総合教育センター 「あすなろ」

◆ ハロー電話「ともしび」

子ども、保護者からの悩み、教育相談を受け付けています。匿名で相談することが出来ます。

相談日 平日・土日祝 9:00~17:00(12/29-1/3を除く) TEL:0537-24-8686(掛川)

◆ 面接相談

子どもの教育上の問題、発達及び障がいに関する支援について、保護者、子ども、教員等からの相談を受け付けています。

※月3回、医師・臨床心理士等による専門的な立場からの相談も受けられます。

【 お問い合わせ 】 平日 9:00~17:00 TEL:0537-24-9738(予約制)

◆ 学習支援室「ステップ バイ ステップ」

不登校の小学生、中学生に将来への自立に向け、学習の場を提供しています。学習支援には、大学生や社会人ボランティアが当たります。子どもの学習ペースに合わせて個別学習、個別支援を原則にしています。学習内容、時間は、子ども本人が自分の学習ペースに合わせて決めます。

開設日:毎週水曜日 時間 9:30~15:30 場所:静岡県総合教育センター 掛川市富部456番地

【 お問い合わせ 】 平日 9:00~17:00 TEL:0537-24-9738

● 東遠地区生活支援センター 相談支援

在宅で生活する知的に障がいがある方や発達障がいの方、発達の気になるお子さん、そのご家族のための支援を行います。暮らしの事、福祉サービスの事、仕事の事、学校の事etc...お気軽にご相談ください。

※相談にかかる費用は一切かかりません。

ご本人やご家族の「困った」の解消・軽減が行えるように、学校・福祉施設・行政機関などと連携・協力しています。

【 お問い合わせ 】 相談受付時間 8:15~18:00 相談専用電話:0537-35-2971

● NPO法人 しずおか 静岡高等学園 中等部(しずおかフリースクール)

不登校やひきこもりをはじめ、軽度の発達障害・知的障害などの事情を抱える子どもたちの学びの場、居場所を提供しています。市教育委員会の判断で出席扱いにできることもあります。特別支援教育を推進し、その子の個性として支援していきます。

【 お問い合わせ 】 TEL: 0537-35-6513 FAX: 0537-36-6932

メール: nposhizu@shizuokanet.ne.jp



大切なのは二次障害の予防



二次障害とは、障がいが原因で失敗や挫折を繰り返し、感情や行動にゆがみが生じることです。「誰も自分のことを分かってくれない」「どうせ何をやっても無駄だ」「世の中の人間はみんな敵だ」など自信喪失・自己否定感を抱き、そのストレスから色々な症状があらわれます。

二次障害でみられる症状、行動

- ・不登校、ひきこもり、非行
- ・抑うつ、躁うつなどの精神症状
- ・頭痛、腹痛、チックなどの身体症状
- ・睡眠障害、妄想、錯乱
- ・こだわりや感覚過敏が強くなる
- ・無気力、不定愁訴
- ・食欲の異常、強迫症状、自傷行為など行動の異常
- ・自暴自棄、暴力、威嚇など反社会的行動



ママたちのつぶやき

学校生活だいじょうぶかな？

Bくんママ : Cちゃん元気に学校通っている？

Cちゃんママ : おかげさまで今のところは先生に気にかけてもらいながら楽しく通っているよ。でも、学年が上がると友人関係や勉強でつまずいてしまわないか心配なの。

Aくんママ : そうかぁ、子どもが笑顔ですごせることが大切だよな。

Bくんママ : いざという時に、親子でいきづまらないように、子どもへ支援をしてくれる場所や、親子で信頼して相談できる場所を知っておくことは大事だよな。

Cちゃんママ : うん。親の心に余裕がないと、ついつい子どもに厳しくしてしまったり、子どもの良い所を見逃してしまいそう。

Aくんママ : そうだね。まずは家庭が子どもにとって、ホッと安心できる場所になるように、私たちもサポートを上手に受けようね♪





放課後等デイサービス

発達に凸凹のあるお子さんは、放課後の過ごし方に悩む場合があるかもしれません。そういった時は「放課後等デイサービス」の利用を考えてみてはどうでしょう。

放課後等デイサービスってなあに？

障がいのある子どもへの療育の場、居場所の役割とともに、家族の養育負担の軽減の役割も担っています。保護者が働いていなくても利用できます。

事業所によって特色があるため、情報の収集や見学(体験)をしっかり行い、子どもが過ごしやすい環境や家庭のニーズを重視して事業所を選択しましょう。

対象

障がいのある 6 歳～18 歳(受給決定された小中高校の就学児童・生徒)

サービス内容

- ・自立した日常生活を営むために必要な訓練
- ・創作的活動、作業活動
- ・地域交流の機会の提供
- ・余暇の提供

サービス利用までの流れ

- ① 福祉課に相談(TEL・窓口)
ニーズに合ったサービスの事業所(放課後等デイサービス)を紹介してもらいます
- ② 放課後等デイサービスの見学
- ③ 福祉課と面接
- ④ サービスの申請
- ⑤ サービス等利用計画案の作成
- ⑥ 受給者証の発行
- ⑦ 事業所(放課後等デイサービス)との契約
- ⑧ 事業所(放課後等デイサービス)での個別支援計画の作成
- ⑨ 利用開始

月額の利用料

- ・事業所により多少の違いあり
(平均一回800円～900円位)

- 障害福祉サービスの定率負担は、所得に応じて次の区分の負担上限月額が認定され、ひと月に利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。
- 所得を判断する際の世帯の範囲は次のとおりです。

(利用者負担の上限)

世帯所得	支払料金
非課税世帯	0 円
約 890 万円まで	月額上限 4,600 円
約 890 万円以上	月額上限 37,200 円



主に掛川市の放課後等デイサービス（障がい児の学童）比較

事業所名	リカバリーかけがわ	こどもサポート教室 「きらり」掛川校	掛川センター
管轄	株式会社リカバリー	株式会社クラ・ゼミ	福祉教育アセスメント センター株式会社
利用日	平日、土曜日（隔週）	火曜日～土曜日	月曜日～土曜日 ※祝日、12/30～1/3を除く
利用時間	平日 放課後～18:00 17:20 出発で順次送り届け 休暇 9:00～16:30 15:30 出発で順次送り届け	平日 16:00～19:00 土曜・祝日・学校休業日 13:00～19:00	平日 下校～17:00 土曜・休日 10:00～16:00
場所	掛川市 長谷	掛川市 南3丁目	掛川市 北門
学校までのお迎え	○ 休暇時は自宅までお迎え可	×	○ 休日は自宅までのお迎え可
自宅までの送り	○	×	○
上靴の用意	×	×	○
連絡帳の有無	○	×（直接お話しします）	○
おやつ	用意してくれる	なし	用意してくれる
受け入れ対象	特別支援学校 特別支援学級	通常学級、支援学級 特別支援学校	掛川市及びその周辺市在住者 通常学級～特別支援学校
1日の定員	10名	10名	10名
看護師の有無	×	×	×
その他	・ 休暇時の活動 月 手遊び 火 読み聞かせ 水 おやつ作り 木 工作 金 歌 土 買い物遊び ※夏に水遊びあり	・ マンツーマン対応の個別療育（60分間）をしています。 ・ 学習支援やSSTに関する学習など個別課題に対応しています。 ・ 児童発達支援もしています。 （平日は10:00～16:00、土・祝・学休日は10:00～13:00）	・ 利用児童のニーズに合わせた個別療育、言語聴覚療法（土曜のみ） ・ 昼食を挟んでの利用の場合、お弁当をお持ちいただきます。
お問い合わせ	0537-28-9751	0537-29-8950	0537-64-3072

※上記内容は変更になる可能性がありますので、詳しくは各事業所へお問い合わせの上、ご自身の目で見学されることをオススメします。

かあさんの家 放課後等デイサービス	ジョブステーション しずおか	てんとうむし	ひまわり 掛川駅南校
株式会社かあさんの家	株式会社オーザ	株式会社プラネット	タップ株式会社
月曜日～金曜日 (土・日・祝日休み、 その他…盆休み・年末年始)	平日・祝日・土曜日	平日(月火水木金) 土曜日・祝日・学校休校 日	平日 土曜日(月1～2回)
平日 放課後～18:00 休暇 9:00～17:00	平日 放課後～17:00(延長可) 休暇 9:00～17:00(延長可) 17時出発で順次送り届け	平日 13:00～18:00 休暇 9:30～17:30 *送り届けは利用時間 内で要相談	平日 放課後～18:00 休暇 9:00～17:00 17時以降、順次送り届け
掛川市 大漕	菊川市 仲島・本所・掛川市 緑ヶ丘	掛川市 上張	掛川市 亀の甲 2-18-6
○ 休日は自宅までのお迎え可	○ 休暇時は自宅までお迎え可	○ 休暇時自宅までのお迎え は要相談	○
○	○	○(要相談)	○(平日・長期休暇可、 土曜日要相談)
×	○	×	×
○(必要に応じ)	○(必要に応じ)	○(必要に応じ)	○
用意してくれる	持参	事業所用意 (50円/1日)	用意してくれる
掛川市大東・大須賀地域 通常学級～特別支援学校 ※その他地域は相談に応じます	通常学級～特別支援学校	特別支援学校 特別支援学級	主に掛川特別支援学校 (小・中・高)
10名	各10名	10名	10名
×	○	×	○
・自然環境の中で一人一人 の個性を大切に穏やかに 過ごせるように取り 組んでいます。	・相談支援・学習支援 ・パソコン・音楽、工作、 スポーツ・ジェームズ先生 とリズムイングリッシュ ・運動療育・散歩、夏プール、 遠足等	・季節に応じた行事の 支援 ・パソコンも使用可	・生活する上で必要 な力を育みます。 ・様々な体験を通して、 個々の子どもの状況 に応じた発達支援を 行います。
0537-48-7650	0537-36-6662	0537-29-6841	0537-62-0011

事業所名	ひまわり 掛川駅東校	ひまわり 掛川駅西校	ひまわり 袋井駅前校	ひまわり 浅羽校
管轄	タップ株式会社			
利用日	平日、土曜日（月1～2回）			
利用時間	<input type="checkbox"/> 平日 放課後～18:00 <input type="checkbox"/> 休暇 9:00～17:00 17時以降、順次送り届け			
場所	掛川市 緑ヶ丘 2-4-4	掛川市 中央高町 128	袋井市 高尾町 14-2	袋井市 浅羽 1402-5
学校までのお迎え	○	○	○	○
自宅までの送り	○（平日・長期休暇 可、土曜日要相談）			
上靴の用意	×			
連絡帳の有無	○			
おやつ	用意してくれる			
受け入れ対象	主に旧掛川市内の 特別支援学級（小・中）	掛川特別支援学校の 重症心身障害児 （小・中・高）	袋井特別支援学校の 重症心身障害児 （小・中・高）	袋井特別支援学校 （小・中・高）及び袋井市・ 掛川市大須賀地域の 支援級（小・中）
1日の定員	10名	5名	5名	10名
看護師の有無	×	○	○	×
その他	<ul style="list-style-type: none"> 現在、掛川市内の支援級の小学生が通っています。 学習支援、ソーシャルスキルトレーニング、様々な体験学習に力を入れています。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師・機能訓練担当職員・保育士が常駐し医療的ケアや機能訓練も行っています。 五感の療育にも個別に対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が常駐し医療的ケアに対応しています。 保育士、機能訓練担当職員が、一人ひとりに向き合い安全な支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの特性を理解し寄り添った個別支援と、社会性や自立を促す為の集団支援を行い、良い雰囲気の中で過ごせるよう取り組んでいます。
お問い合わせ	0537-62-1212	0537-62-0022	0538-74-2020	0538-23-3511

事業所名	はるかぜ	かざぐるま	みなみかぜ	たんぼぼ
管轄	社会福祉法人 掛川市社会福祉協議会			東遠学園組合 東園地区生活支援センター
利用日	月曜日から金曜日（土・日・祝日休み、その他・・・盆休み・年末年始）			平日、日曜日
利用時間	平日 (特別支援学校が短縮 日課の場合は下校後から)	平日 14:00～18:00 (特別支援学校が短縮 日課の場合は下校後から)	平日 (特別支援学校が短縮 日課の場合は下校後から)	平日 下校時間～17:30 休暇 9:00～16:00
場所	掛川市 杉谷 (希望の丘)	掛川市 掛川 (掛川市総合福祉センター内2階)	掛川市 三俣 (大東保健センター内2階)	菊川市 西方
学校までのお迎え	徒歩	○	○	○
自宅までの送り	基本的に保護者の迎え（無理な場合は要相談）			×（要相談）
上靴の用意	×			×
連絡帳の有無	○（長期のみ）			×
おやつ	用意してくれる			用意してくれる
受け入れ対象	掛川市在住の通常学級～特別支援学校（受給決定者） 要相談			掛川袋井の特別支援学校 特別支援学級
1日の定員	両事業所合わせて20名		10名	10名
看護師の有無	○	○	○	○
その他	平日：個々に応じた支援 長期休暇：活動計画にそった支援			外遊び、散歩、プール、クッキングなどの活動を中心に活動しています。また、季節に応じた行事やイベントを計画して実施しています。休暇の昼食は持参の弁当か、たんぼぼの給食が選択ができます。
お問い合わせ	掛川市社会福祉協議会 障害者支援係 0537-22-1309			0537-37-3995

ママたちのつぶやき

放課後や長期休暇どうしてる?!



- Cちゃんママ**： 今、うちは、共働きのなので学校に併設の学童保育所を利用しているけど、Aくん、Bくんたちは放課後はどうやって過ごしているの？
- Aくんママ**： うちの週2回、放課後等デイサービスを利用しているよ。
- Bくんママ**： 我が家の場合は、習い事と放課後等デイサービスを組み合わせて過ごしているよ。やっぱり、何か日課になるものがあると、長期休暇も安心だなと思って。
- Cちゃんママ**： そうなんだ！習い事もさせてみたい気持ちはあるけれど、いろいろと悩んでしまうよ。
- Aくんママ**： 子どもの様子を見ながら、どんな過ごし方がいいのか考えていくのが大切だよ。
- Bくんママ**： うん！そうだね！場合によっては、福祉サービスも利用しながら子どもと共に快適に過ごせるようにしていきたいね。
- Cちゃんママ**： そうだね。また、何か情報があったら教えてね♪



知っておきたい福祉制度

子どもに発達上の凸凹があるが故に、生活に少しの変化が生じただけでも、「どうしよう…」と途方に暮れるような想いを抱くことがあるかもしれません。そういったときに、生活をサポートしてくれる支援があれば乗り越えられることがあります。

1人で抱え込まず、ときには上手に福祉サービスを利用してみましょう。

こんな経験や悩みはありませんか？

長い夏休み、親子で一日中家にいると、お互いイライラしてしまう！

出産後、上の子を遊びに連れて行ってあげたいけど、外出できない…。

病気になった時、子どもの送迎はどうしよう…。



いきづまる前に、まず相談してみましょう



掛川市役所 福祉課

TEL : 0537-21-1139

東遠学園組合

東遠地区生活支援センター

TEL : 0537-35-2971

advice



相談窓口に出向き、直接困っている内容を伝えてアドバイスをもらうことが大切です。サービス利用までに手続きが必要になり、申請から2ヶ月ほどかかることもあります。身近に頼る人がいない、これから困りそうだ、など心配がある場合は早めの相談、手続きが必要です。

どんなサービスがあるの？



1. 障害者総合支援法によるホームヘルプサービス等
2. 地域生活支援事業による福祉サービス
3. 東遠学園 東遠地区生活支援センター「レスパイトサービス」
4. 掛川市児童発達相談員派遣事業(福祉課)
5. 保育園一時預かり事業(こども希望課)



詳しくはこちら…

1. 障害者総合支援法によるサービス…ホームヘルプサービス等 (福祉課)

公的なサービスで1割の自己負担でご利用できます。(上限金額あり)

- 居宅介護… 日常生活に支障のある障がい者(児)の家庭にホームヘルパーを派遣します。障がい児に対しホームヘルパーが派遣される場合保護者が在宅している、または同行すること(通院時)が必要です。
- 行動援護… ご家庭からのサービスの依頼に合わせて散歩やプールを楽しんだり、公共機関を利用して外出することもできます。
※但し交通費などで実費が必要なことがあります。

福祉サービス	利用までの流れ(新規の場合)	
居宅介護(身体介護、家事援助、通院等介助、乗降介助)	1. 相談	6. 支給決定・受給者証交付
行動援護	2. 申請	7. サービス等利用計画の作成
重度訪問介護	3. 聴き取り調査	8. 事業者・施設との契約
同行援護	4. サービス等利用 計画案作成	9. サービスの提供
短期入所(ショートステイ)	5. 審査会(18歳～)	10. 利用者負担額の支払い

2. 地域生活支援事業によるサービス (福祉課)

- ① 身体、知的及び精神に障がいのある児童
 - ② 障がいが想定され、支援の必要があると市から判断された児童も利用可能
- ※ 0.5 割の自己負担で利用出来ます



- 日中一時支援…障がいのあるかた、または障がいのある子どもに活動の場を提供するとともに社会に適応するための日常的な訓練、介護その他の支援を行います。
- 移動支援…ご家庭からのサービス依頼に合わせて散歩やプールを楽しんだり公共交通機関を利用して外出することもできます。
※但し交通費などで実費が必要なことがあります

3. 東遠学園組合 東遠地区生活支援センター「レスパイトサービス」

障害者総合支援法では対応できない内容を、支援センター独自のサービス(以下:レスパイト)を使う事で対応しています。レスパイトは、他のセンターでのサービスと併用して使う事が出来ます。レスパイトは、支援センターの独自事業のため、全額自己負担になります。

※レスパイト…乳幼児や障がい児・者、高齢者などを在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替する家族支援サービスのこと。

- 一時預かりサービス…センター1階で調理やビデオ鑑賞など、本人の希望に沿った活動を行います。
- 送迎サービス…ご家庭で、学校や働く場、病院への送り迎えが難しい場合、また外出支援時に車で移動したい場合に、ご利用いただけます。

レスパイトサービスの料金案内

時間/サービスの内容	一時預かり (9:00~17:00)	一時預かり (左記以外の時間)	送迎サービス
30分未満	450円	500円	1000円
45分未満	850円	1000円	1500円
以後 30分毎(送迎のみ15分毎)	+500円	+500円	+500円

※移動支援(地域生活支援事業のサービス)を使い2時間外出し、その中で送迎サービス(レスパイトサービス)を1時間使った場合

「移動支援(1時間分)+送迎サービス(1時間)」となります。

【お問い合わせ】 TEL:0537-37-3995 FAX:0537-37-3996



4. 掛川市児童発達相談員派遣事業

発達が気になる(手帳の交付を受けていない)小学校就学前の児童のいる家庭に育児等の相談、助言のできる相談員を派遣する事業です。費用は生計中心者の課税状況により1時間あたり0円から950円の自己負担金がかかります。

【窓口】 掛川市福祉課 TEL:0537-21-1139
掛川市社会福祉協議会 TEL:0537-22-1309

5. 保育園一時預かり事業 生後6か月から就学前の乳幼児

一時預かり事業を実施している園に直接問い合わせ、申し込みをします。実施している園の詳細については、市のHPから確認できます。

【窓口】 掛川市こども希望課 TEL:0537-21-1205

療育手帳について



子どもと保護者が、さまざまな福祉サービスを受けやすくするように設けられているものです。障がいの程度によって、A(重度)またはB(中・軽度)の等級があります。都道府県によって設定や名称が異なります。手帳を取得することで就職や生活が不利になることはありません。親や本人が療育手帳を使いたい場面で使えば良いので、手帳を持っていることを進学や就職などで必ず伝えなくても良いです。生活や就労、社会参加の幅を広げるカギとなるのが手帳です。

● どんな人が対象なの？

知的障がいがある方が対象となります(全国共通)。静岡県の場合は発達障がいのある方の一部も対象となります。対象となる年齢に制限は特に設けられておりませんが、初めての申請が18歳以上の方は、手続きされる前にご相談ください。

● 取得すると、どんないいことがあるの？

福祉サービスを利用するときに、手続きがスムーズに進みます。他にも下記のようなサービスなどが受けられます。等級(A、B)によって、受けられるサービスの内容が異なります。

- ・医療費の助成
- ・税の減免
- ・交通機関の運賃割引
- ・美術館、動物園等の施設利用料の減免
- ・施設への入所、通所など
- ・支援費の受給
- ・特別児童扶養手当などの受給 など

● 申請の流れ

- ① 本人(保護者)が、掛川市福祉課へ申請し、手続きを行います。
- ② 後日、西部児童相談所または知的障害者更生相談所の判定員による面接・聞き取りが行なわれます。
- ③ 判定結果に基づいて県知事が手帳を交付し、結果が郵送されてきます。
- ④ 手帳を受け取り、各種サービスなどについて説明を受けます。

【お問い合わせ】 掛川市福祉課

TEL: 0537-21-1139 FAX: 0537-21-1163



特別児童扶養手当について

身体障がい、知的障がい、発達障がいなどなんらかの障がい・発達の遅れのあるお子さんの、発達支援や福祉の向上を目的として設けられている手当です。お子さんの障がいの程度により1級、2級の等級があり、支給額が異なります。

支給月額(いずれも児童一人あたり) ※年度によって改定があります

区分	平成30年度
1級(重度障害児)	月額 51,700円
2級(中度障害児)	月額 34,430円

※ただし、父母または扶養義務者の所得が一定額以上あるときは、手当は支給されません。

【お問い合わせ】 掛川市福祉課

TEL: 0537-21-1139 FAX: 0537-21-1163

特別支援教育就学奨励費について

特別支援学校・学級に就学するお子さんの保護者には、その負担の軽減を図るために所得に応じて就学に要する費用(学用品、給食費、通学費、修学旅行費など)の全部又は一部を援助しています。

例) 特別支援学級の場合

新入学児童学用品等…実費の1/2(限度額 小学校10,235円 中学校11,775円)

ランドセル購入 40,000円…10,235円が支給されます

※実費の算定には、購入した物品の領収書・レシート等が必要ですので学校に提出するまで紛失することがないように保管しましょう。

【お問い合わせ】 掛川市教育委員会 学校教育課

TEL: 0537-21-1156 FAX: 0537-21-1172





子どもと一緒に出かけよう

発達に凸凹があるからこそ子どもに色々な経験をしてほしい。でも、いざその時になると躊躇してしまう。子どもの行動が周囲に迷惑をかけてしまう…そんな思いから自分たちの居場所が見つからない人。あなたと同じ思いを抱えている人はたくさんいます。その思いを理解してくれる人がいる場所を紹介します。

チャレンジドスポーツ協会

一年を通して色々な活動を行っています

- 活動理念
- ① スポーツを主軸とし、体力をつけることで社会参画に役立てる
 - ② 就労後の余暇活動としての1アイテム
 - ③ コミュニケーション力をつける

スポーツ(レクリエーション・競技): トランポリン 吹き矢(プレスアップ) フライングディスク ボッチャ

Newスポーツ: パラバルーン スカットボール ラグゲッター ユニカール 健康体操

文化的イベント: 音楽コンサート 工作(創作活動) ボランティア活動(掛川新茶マラソン等)

年会費 1,000円 (本人・保護者1名) 年齢制限なし

対象 障がい児者とその家族 スポーツに取り組む方とその家族

※個人に合わせた活動を目指しています

【 お問い合わせ 】 小林 由貴美(協会理事長) TEL: 090-5628-7750



かけがわキューピーおもちゃ図書館

おもちゃ図書館は、いろいろなおもちゃで遊ぶことを通して、障がいのある子もいない子も共に育ち合う場として開催しています。子どもは、遊びの中で成長していきます。

福祉サービス、子どもの発達のことなど気軽に相談できる場所でもあります。

- おもちゃを一家族3点まで借りることができます。楽しいおもちゃや、気に入ったおもちゃは借りて帰ることができます。次回の開館日に返却してください。
- お子さんにあったおもちゃを一緒に考えていきます。
- 子育てに不安や悩みがあれば、相談もできます。友達を増やしましょう。

【ボランティアに参加してみませんか?】

おもちゃの出し入れをしたり、来館された子どもたちと一緒に遊んだりして下さる方を大募集しています。ご都合の良い時間で大丈夫です。

場所 掛川市総合福祉センター 3階(あいりーな) 児童交流館(プレイルーム)

開催日時 毎月第3日曜日 午前10時から午後3時

※親子で来館してください(大きいお子さんも必ず親子で来館して下さい)

【 お問い合わせ 】 掛川市社会福祉協議会 TEL: 0537-22-1309

開催当日は掛川児童交流館 TEL: 0537-24-0822

発達に凸凹のある子どもと親のサークル「ITTA」

静岡県掛川市にて、発達に凸凹（でこぼこ）を持つ小学生とその保護者の小さなサークルです。同じ想いや悩みをもつ仲間で発足。「目の前にいる子どもと、明るく楽しく過ごす」を目標に活動をしています。

活動内容

- 1 SST（ソーシャルスキルトレーニング）の勉強会・親子遊びを取り入れた交流会を実施
- 2 発達に凸凹のある子どもの困ったや家族に寄り添う事業計画、運営
- 3 「うさぎちゃんの日」…掛川市倉真にある、子育て支援事業所「パンダひろば」にて、月に一度の育ちが気になるお子さんとその親御さんの集いにお手伝いで参加中♪どなたでも参加頂けます

【 お問い合わせ 】 代表 宮城 TEL：080-3999-7064 メール：itta2014@excite.co.jp

サークル「と・まーる」

発達障害の子どもを持つママが集まり「発達障害の子どもを持つ母親の気持ちを受け止めたい」との想いで発足。

活動内容

場所を貸し切りにしてママも子どもも周りの目を気にすることなく思いっきり遊ぶ『あそぼう会』や『ママだけのランチ会』などの【ゆる～い活動】から、発達障害に関する「講演会の参加」など【ガッツリ活動】まで、メンバー自身が選んで参加する自由参加型のサークルです。

【 お問い合わせ 】 メール：to_ma_lu@yahoo.co.jp

かけがわ発達支援を考える会

支援を必要とする子どもを中心とした、保護者・医療機関・教育機関・行政機関・福祉施設・地域それぞれがつながりを持ち、理解を深め合い、子どもたちへの必要な切れ目のない相談支援を実現することを目的として活動。

活動内容

- 1 座談会、学習会、講演会等の開催
- 2 発達支援に関する啓発活動
- 3 その他本会の目的に合致する事業

対象

ご興味ある方ならどなたでも。

年会費

500円

【 お問い合わせ 】 メール：dekoboko2017@excite.co.jp

ちょっと便利な♪

関係機関 連絡先

掛川市・袋井市病院企業団立	
中東遠総合医療センター	TEL：0537-21-5555（総合受付）
社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会	
こひつじ診療所	TEL：0538-23-0660
小笠病院	TEL：0537-22-2288
浜松市社会福祉事業団	
浜松市発達医療総合福祉センター	
はままつ友愛のさと	TEL：053-586-8804（初診）
子どものこころの診療所	TEL：053-452-8080（初診）
静岡県総合教育センター あすなる	TEL：0537-24-9738
東遠学園組合	
こども発達センター めばえ	TEL：0537-23-2312
東遠学園組合	
こども発達センター みなみめばえ	TEL：0537-85-1222
東遠学園組合	
東遠地区生活支援センター	TEL：0537-35-2971
社会福祉法人	
掛川市社会福祉協議会	TEL：0537-22-1309
掛川児童交流館	TEL：0537-24-0822
掛川市教育委員会学校教育課	TEL：0537-21-1156
掛川市教育センター	TEL：0537-72-1345
掛川市発達相談支援センター のびる～む	TEL：0537-28-8017
掛川市役所 こども希望課	TEL：0537-21-1205、21-1144
幼児ことばの教室（掛川教室）	TEL：0537-24-2881
幼児ことばの教室（大東教室）	TEL：0537-72-5617
福祉課	TEL：0537-21-1139
健康づくり課（徳育保健センター）	TEL：0537-23-8111
こども政策課	TEL：0537-21-1211

（順不同）



参考文献

「咲かせよう、じぶん色の花」 / 所沢リソースブック制作委員会 所沢市HP参照

【 ご意見・ご感想はこちらまで 】 サークル「ITTA」 Mail: itta2014@excite.co.jp

※イラストの無断転載はお断りします

MEMO



A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page below the header.

冊子名 「 nikori (ニコリ) 」 と 「サークル ITTA (いった) 」 について

私たちサークル ITTA(いった)は、発達に凸凹(でこぼこ)のある子どもと親とで集い、「目の前にいる子どもと楽しく生活すること」を目標に活動をしている団体です。

今回、子どもの悩みを話していく中で、「今まで困った時にその都度、情報を集めてきたけれど、一括してわかるものが手元にあればいいのにね」という声から、このサポートブックづくりがスタートしました。

子育てが大変だと、ほほ笑むことを忘れてしまうものです。このサポートブックが少しでも子どもと親が共に安心する生活につながり、にっこりとしたほほ笑みがこの街にあふれることを願い「nikori」(ニコリ)と名付けました。

作成 発達に凸凹(でこぼこ)のある子どもと親のサークル「ITTA(いった)」
～平成27年度 地域少子化対策強化交付金事業掛川市子育て協働モデル事業～

n i k o r i (ニコリ) ～子どもの育ちが気になるあなたへ～

乳幼児期から就学まで

発行日 第一版 平成28(2016)年3月
第二版 平成30(2018)年3月

監修 【掛川市発達凸凹(でこぼこ)サポートブック編集委員会】

発行 第一版 掛川市 こども政策課
第二版 掛川市 福祉課

掛川市長谷一丁目1番地の1 TEL 0537-21-1139

印刷 (有)掛川コピーセンター



n i k o r i

